

『私を創ってくれた3つの作品』

スペースデザイン部会員 二井進

<作品 1>



1981 集落

この集落という作品は2年目の発表作品です。

大学ではシルクスクリーンなどの平面表現を主として活動していました。

空間表現の中で版表現であるシルクスクリーン技法を活かした造形表現はどうすれば良いか模索していたところです。

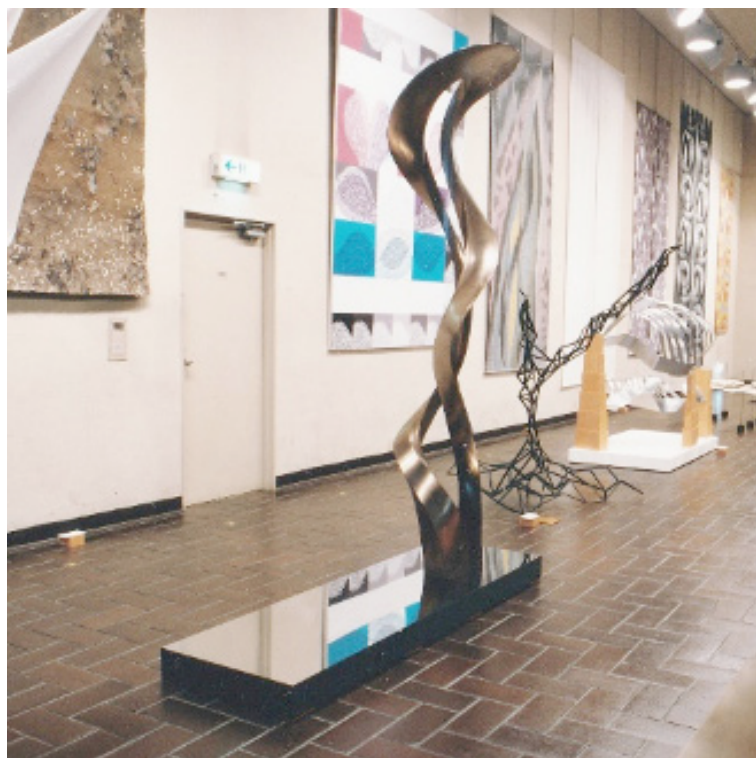
作品面と摺りガラスに印刷することで下の画像とのズレを表現した作品です。

台となる板に印刷を加えることで場の空間性を表現できればと以後の作品に活かしてきています。

<作品 2>



1997 陽炎



1999 影法師

この2作品は形と型の関係による作品です。

樹脂を使用した作品制作を行っていますから、作品を作る場合に原型を作り、型取りをして作品を制作していきます。この工程を通して生まれた作品になります。まず、1997年の作品を制作する段階で生まれた型取りの型の形を作品として表現したものが1999年の影法師の作品になります。

形→型、型→形、表現の方法論としてその関係性は造形を考える上で面白く興味のあるものとなっています。

<作品3>



2015 回帰

この作品から無彩色（白色）を主として表現しています。

場（台）はステンレス板で天井の照明が映っています。

色を無彩色にすることで光と影の移り変わりや移動していくことで、影の濃淡で空間性（立体感）を捉えることが出来ると思います。強い影、淡い影、緩やかに変化していく影、光が何処からあたるかによってモノトーンの変化の面白さを感じています。

二井 進 プロフィール



1955年 広島生まれ
新制作協会 会員

新制作には1980年から出品
1981年, 1987年, 1990年、新作家賞受賞
1993年 会員推挙

他、個展、グループ展を開催